

「竹宵まつり～百万人のキャンドルナイト in 南信州」が開催されました

去る6月5日、長野県飯田市を中心とする飯田下伊那地域にて「竹宵まつり～百万人のキャンドルナイト in 南信州～」を開催いたしました。主催は、市内の企業や市民団体で構成される実行委員会です。飯田市も構成団体に入っております。百万人のキャンドルナイトは、夜に当たり前についている電気を消すことで、身近にある幸せを体感する、という全国的なイベント。それぞれの地域で工夫を凝らして開催されております。飯田下伊那では、地域にある素材を活かしたイベントに、ということで、竹藪から切り出した竹で作った灯籠（これを竹宵“たけよい”と呼んでおります）を中心市街地や温泉地などで飾りました。その数、約4000本。イベント終了後、余分な竹は福祉施設で竹炭に加工し、活用されます。



このイベントの特徴は、カーボンオフセットにもこだわっていること。イベントで使っているろうそくはすべて植物由来の油で作られたろうそくです。また、中心市街地では家庭でもキャンドルナイトを、ということで、飯田下伊那地域で採取された蜜ろう（はちみつをとる時に出る成分です）で作ったろうそくを販売し、大変好評でした（現在も販売しております。ご興味ある方は事務局 0265-24-4821 まで）。これも地域の福祉施設に作成を依頼しています。

イベントで出店されたお店の品々も地元の素材にこだわったもの。改めて、地域の豊かさを感じてもらえるイベントになったようです。ほかにも、下伊那郡阿智村にある昼神温泉郷、飯田市下久堅のスローライフ体験館「風の学舎」、飯田市南信濃遠山郷と、中山間地の特色ある地域でも同時にイベントを実施。夜間でもまぶしい日本列島の真ん中で、宵を楽しむ一日となりました。



←家庭用に販売したりんご型の蜜ろうキャンドル